

[第13回]

# NCGG-RI 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

## ナノバブルを用いた 根管内無菌化法の開発について

幹細胞再生医療研究部 再生歯科医療研究室

庵原 耕一郎 室長

2016年10月11日(火) 16時00分～  
第1研究棟2階大会議室

これまで、私どもは歯髄幹細胞を用いた歯髄再生治療法の開発を行ってきた。臨床研究において歯髄幹細胞移植の安全性については確認されたが、今後有効性試験を行う前に、解決すべき問題点がいくつかある。その一つが、移植前後の感染制御である。移植細胞については移植前の特性試験において、各種細菌の検査をしているため感染の原因になるとは考えにくい。従って移植前の根管内の細菌除去と、移植後の仮封材のすきまから侵入する細菌を防御する必要がある。今回、移植前の根管内の細菌除去として歯科診療所に設置できるナノバブル発生装置の試作機が完成した。この装置により作製したナノバブルのイヌ生体外および生体内での根管内の無菌化の有効性試験の途中経過を報告する。

座長：丸山 光生